

法人会は税のオピニオンリーダーとして
企業の発展を支援し 地域の振興に寄与し
国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である

宮 MIYABITO びと

公益社団法人 宇都宮法人会

■ CONTENTS

法人会長新年あいさつ	2
令和4年度納税表彰受賞者	
宇都宮税務署長新年あいさつ	3
宇都宮税務署からのお知らせ	4
— 確定申告のお知らせ	
税に関する作文入賞作品	5
本部社会貢献事業・事業予定	6
秋季講演会・税制改正提言活動	7
企業紹介	8
社団化10周年記念講演会	10
全法連第38回法人会全国大会「千葉大会」	
新会員紹介	11
青年部会	12
女性部会	13
税理士会	14
健康のお話	15
会員の声	16

表紙写真：干し柿
写真撮影：塩井賢一 撮影協力：松田仁一
宮びとバックナンバー
<http://www.utsuhou.or.jp/miyabito/>



犬と歩けば福に当たる

■中高年のベスト・パートナー

50歳代後半から犬を飼っています。きっかけは犬好きの両親が高齢で犬を飼えなくなったため、「自分たちで飼ってときどき連れて行けば喜ぶかも」と思ったからです。そんな軽い気持ちで犬を飼い始めたのですが、換毛期の抜け毛は半端なく（ゴミ箱1杯分！）病気になったりケガをしたりとの連続で、たかが子犬1匹のために振り回される大変な日々となりました（泣）。しかし両親は思いのほか喜んでくれ、表情が明るくなり活気が出てきたのです。無邪気に遊ぶ子犬を見て癒されるだけでなく、子犬を世話することで自分の役割（仕事）ができ生活に張りが出てきたのかもしれない。犬と暮らすことで高齢者の血圧が下がったり孤独感や疎外感の軽減が報告されているように、「犬は中高年の心と身体に元氣と活気を与えてくれる最良のパートナーでありサポーターでもある」と言えるかもしれません。

■アニマルセラピーの効用

私が勤務していた国立病院機構宇都宮病院では、回復期病棟で定期的にアニマルセラピーを行っています（現在は一時休止）。「入院が長期化している患者さんに何か喜んでもら



セラピー犬たち

えることはないか？」と考え取り組んだのですが、実際には患者さんだけでなく（むしろそれ以上に）病棟スタッフにも大変好評でした。普段は硬い表情の患者さんが笑顔で犬と触れ合う姿を見て、スタッフもまた幸せな気持ちになるのです。NP O 法人とちぎアニマルセラピー協会から訓練を受けた認定セラピー犬が毎回4頭ほど病院へ来てくれ、犬と触れ合うことで患者さんたちの心が癒され、不安やストレスが軽減される様子がよくわかりました。

アニマルセラピーとは人と動物との触れ合いを通じて医療・介護・教育などに活用される活動のことであ

り、その目的により主として動物介在活動（AAA）、動物介在医療（AAAT）、動物介在教育（AAE）の3つに分けられます。AAAは情緒的な安定や生活の質向上などを目的としており、日本ではこれが主流です。AAATは専門的な治療行為の一種（補助療法）として行うものであり、AAEは命の大切さなどを学ばせる教育の一環として行われます。欧米では高齢者施設や医療機関、学校、障害者施設、刑務所など様々な場所で幅広く活動しており、最近では国内でも活動の幅が広がってきました。

■柴といつまでも

私が飼っている柴犬という犬種はカワイイだけの愛護犬ではありません。気難しくてこだわりが強く、寂しがり屋だけどベタベタしない、デレデレ甘えていたかと思えば急にツンとして冷たい態度になる（ツンデレ）など、マイペースな頑固者で人に媚びないクールさと飼い主への一途な忠誠心が何とも言えない魅力です。「人に慣れたオオカミ」とも言われるように、柴犬あるあるのエピソードは数え切れず、いまでは犬のいない生活はとも考えられませんが（No Dog, No Life）。

わが家に犬が来てから単調で変化に乏しかった中年夫婦の暮らしはにぎやかになり、犬の話題で夫婦の会話も増えました。私にとって愛犬は一緒に散歩してくれる相手というだけでなく、仕事のグチや妻への不満も（黙って）聴いてくれ、時にはな



わが家の愛犬メイ

ぐさめてくれます（ノ）。犬という存在は単なるペットというより大切な家族の一員であり、ある時には生きる支えにもなり、そして何より無条件に愛することのできる人生の同伴者とも言えます。「喜びは大げさに、怒りは短く、哀しみは静かに、楽しさは無邪気に表す」。これらは愛される犬の共通点ですが、人間も学ぶべき点があるようです。



沼尾 利郎

ぬまおとしお

日光市生まれ。宇都宮高校、獨協医科大学を経て塩谷総合病院副院長、国立病院機構宇都宮病院院長を歴任。現在は同病院名誉院長として宇都宮セントラルクリニック等で診療。専門は呼吸器、アレルギー、スポーツ医学など。